

# 復活の希望

---

シリーズ～続 福音の力～

2021/1/10

# ルカ福音書20章27～40節

---

さて、復活があることを否定するサドカイ派の人々が何人か近寄って来て、イエスに尋ねた。「先生、モーセはわたしたちのために書いています。『ある人の兄が妻をめとり、子がなくて死んだ場合、その弟は兄嫁と結婚して、兄の跡継ぎをもうけねばならない』と。ところで、七人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、子がないまま死にました。次男、三男と次々にこの女を妻にしましたが、七人とも同じように子供を残さないで死にました。最後にその女も死にました。すると復活の時、その女はだれの妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのです。」

イエスは言われた。「この世の子らはめとつたり嫁いだりするが、次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、めとることも嫁ぐこともない。この人たちは、もはや死ぬことがない。天使に等しい者であり、復活にあずかる者として、神の子だからである。死者が復活することは、モーセも『柴』の個所で、主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、示している。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。すべての人は、神によって生きているからである。」そこで、律法学者の中には、「先生、立派なお答えです」と言う者もいた。彼らは、もはや何もあえて尋ねようとはしなかった。

# ここまで経緯

---

## エルサレム入城

- 子口バの背に揺られ、「王」として入城する(19:28-44)
- 神殿の境内で商売をしていた者を追い出す(:45-48)

## エルサレムでの問答・教え

- 権威についての問答(20:1-8)
- 「ぶどう園と農夫」のたとえ(:9-19)
  - ご自分が殺されることと、新しい国の礎石になることを預言される
- 皇帝への税金についての問答(:20-26)
  - 「皇帝のものは皇帝に、神のものは神に返しなさい。」

# サドカイ派の質問

---

## サドカイ派とは

- 祭司家系に連なる裕福な上流階級
- 肉体のよみがえり、未来の裁き、御使いや靈の存在を否定していた（「モーセ五書」だけを認める）
- フアリサイ派とは対立関係にあった

## 復活の矛盾

- 律法では、夫が子どもがなく死んだ場合、兄弟と再婚して子孫を残さなければならなかった（申25:5）
- 7人の兄弟と結婚した女性は復活後誰の妻になるのか？→復活はない！

# 復活後の姿

---

## 復活はある！

- しかし死ぬ前(この世)とは異なっている  
結婚関係はなくなっている
  - 「次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は、**めとることも嫁ぐこともない。**」
  - この世の関係を超える新しい関係が始まる？

## 復活した人たちの姿

- 「もはや**死ぬことがない。天使に等しい者**であり、  
**復活にあずかる者として、神の子だからである。**」
- 名義だけではなく、実際的に「神の子」となる

# 生きている者の神

---

死者の復活はモーセも語っている

- 「モーセも『柴』の個所で、主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、示している」
- 「サドカイ派が大好きなモーセも言っている！」

なぜこの言葉が復活を前提としているのか？

- 「主ご自身が、ご自分をアブラハムらの「神であった」**(過去)**ではなく、「神である」**(現在)**と呼ばれた
- これは、モーセに語りかけている今も、アブラハムらは生きていて、主なる神との交わりにあることを意味している

# 生かしている神

---

この世の命が終わっても死んではない

- 「神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ。」

どのような状態でも神が生かしている！

- 「すべての人は、**神によって生きている**からである。」
- 「命」とはそもそも「神の息(靈)」である
- そもそも、万物は神によって造られ、神によって生かされている

# 復活まではどうなっているのか

---

## 「陰府(ハデス)」にいる

- 「海は、その中にいた死者を外に出した。死と陰府も、その中にいた死者を出し、彼らはそれぞれ自分の行いに応じて裁かれた。」黙示録20:13
- 陰府とは魂の一時預かり所か？

## キリストと共にある

- 「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に樂園にいる」ルカ23:43
- 「わたしたちは、心強い。そして、体を離れて、主のもとに住むことをむしろ望んでいます。」コリント二5:8

# 復活の希望に生きる

---

## 復活する資格

- 「次の世に入って死者の中から復活するのにふさわしいとされた人々は…」

## 信仰によって命の神に結びついておく

- 「口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」

ローマ10:9